

令和8年（2025年）2月6日

報道関係 各位

真庭市役所

【情報提供】

真庭市郷育構築事業

勝山のまちづくり「これまで」と「これから」開催

COOL JAPAN AWARD2025 受賞祝賀会をフォーラム後開催

日時▶ 令和8年2月15日（日）午後1時～

場所▶ 勝山文化センター 第1会議室

出雲街道と旭川高瀬舟水運最北の川湊が交わる宿場町そして二万三千石の城下町。姫新線中国勝山駅から乗降する多くの観光客も今は昔。木材のまちとも呼ばれた勝山が岡山県の町並み保存指定を受けて40年、人口が大きく減る一方で世界が「クール・ジャパン」としての発信を待っています。

「重伝建を目指す勝山」、「岐路に立つ勝山」、外の評価を知り内の事情を、暮らす人関わる人が学び語り合う場づくりが必要になりました。

つきましては、報道・取材方よろしくお願ひ申し上げます。

概要▶

1. 日時 令和8年2月15日（日）午後1時～

2. 場所 勝山文化センター 第1会議室（真庭市勝山319番地）

3. 内容 真庭市郷育構築事業フォーラム…タイトル

午後1時 開会あいさつ（市長）（開場：午後0時30分）

午後1時15分 講演1 「文化創造・文化観光のまちづくり」

講師：北九州市立大学法学部政策科学科 学科長教授（博士）田代洋久 氏

午後1時45分 講演2 「重伝建を活かしたまちづくり」

講師：九州産業大学地域共創学部 教授 田代利恵 氏

午後2時20分～ 市長・田代洋久教授・田代利恵教授の鼎談（タイトル内容）

……フォーラム終了……以降参加希望者による

4. クールジャパンアワード 2025受賞祝賀会（勝山重伝建推進の会主催）

（参加希望出席者対象 参加費500円）

午後3時～ 授賞報告（勝山観光協会長）及び授賞式様子上映

※時間の許す限り勝山で活動する地域団体の発表などを実施

※チラシ上の終了時間はあくまで予定です

5. サイドストーリー（郷育構築事業として）

市発足時9000人程度あった勝山地区人口は、ついに5888人（R8年2月1日現在住民票基準）まで減少しました。作西の地政学上の要衝地として古くから栄えた勝山は「まちづくり」とともに地域のアイデンティティの核であり象徴である景観をどのように次世代へ継承し、真庭市に寄与していくかが大きな課題です。そのためには、一部地域住民がなぜ「重要伝統的建造物群保存地区」を目指し始めたのかを含め、地域が持つ誇りを地域住民自らが学び互いが問いかけ共有する場が必要になりました。

お問い合わせ先・発信元▶

勝山振興局地域振興課

（担当 地域振興課長 山本）

TEL0867-44-2607

FAX0867-44-4569

● 真庭市郷育構築事業

観光

フォーラム

勝山のまちづくり 「これまで」と 「これから」

2026 02/15

デザイン

歴史

まちづくり

日

13:00 - 15:30

※祝賀会含む

重伝建 会場：勝山文化センター 第1会議室

北九州市立大学教授 × 九州産業大学教授 × 真庭市長 が

勝山 を語る！



COOL JAPAN
AWARD
2025 受賞

「真庭市勝山の暖簾」

受賞記念 祝賀会
フォーラム後 開催！

参加費 500円

※フォーラムのみ参加は無料です

ドリンク（ソフトドリンク・アルコール）

簡単なおつまみ、ご用意します

受賞記念祝賀会主催：勝山・重伝建推進の会

いま岐路に立つ「勝山」の歴史と文化を未来へつなぐため、勝山の「これまで」と「これから」を様々な面から語り、勝山の進むべき一歩を提案します。



田代 洋久 氏



田代 利恵 氏

北九州市立大学法学部政策学科教授 博士（創造都市）。専門は地域政策・地域マネジメント・文化政策。ふるさと財団地域再生マネージャー事業推進アドバイザー。文化経済学会理事。

九州産業大学地域共創学部地域づくり学科教授 修士（政策学）。専門は地域政策・観光まちづくり。地域政策学会会員。大阪市役所職員を経て現職。